

下水道だより

◎発行 向日市役所(京都府向日市寺戸町中野20)
◎編集 下水道部 ◎電話 075(931)1111

安全で快適なくらしをささえる下水道

市民みんなの笑顔が輝く 健康都市づくり

下水道は、市民に安全で快適な生活を確保し、河川・湖沼・海などの公共用水域の水質汚濁防止のための重要な役割を果たすとともに、浸水防除(雨水の排除)などに必要不可欠な生活基盤施設です。市では、公共下水道事業を重要な施策の一つに掲げ、健康都市づくりに努めています。

本市の公共下水道事業(汚水事業)は、京都府の桂川右岸流域下水道の関連公共下水道として、昭和49年度にスタートしました。

以後、快適で「緑やさしく安心のまち」づくりに向け事業の積極的な推進を図り、平成8年度末までに約181億8000万円の事業費を投じました。整備状況は、面積で613・4ヘクタール、人口の99・9パーセントである約5万3130人の方が公共下水道を利用できるようになり、概ね完成の域に達しております。

整備状況のパロメーターである人口普及率(本市は99・9パーセント)は、京都府下平均(府下平均76パーセント、京都市を除くと平均普及率47

パーセント)を大幅に上回り、京都府下における市の中でトップの普及率となっています。公共下水道の利用(水洗化)状況をみると、平成8年度末で、市民全体の87・5パーセント(水洗化率)である約4万6530人の方が利用されています。

一方、浸水のないまちづくりを目指して公共下水道のうち雨水対策事業にも積極的に取り組んでいます。

特に、浸水被害の著しい第4向陽小学校周辺地域の被害軽減を目的として、平成6年度より約20億3000万円の事業費を投じた寺戸川1号雨水幹線は、本年6月に完成し、すでに豪雨時には大きな効果を発揮しています。

また、平成7年度から桂川右岸地域の広域的な浸水対策として、京都府が流域下水道(雨水)事業をスタートさせ

9月10日は「全国下水道促進デー」

平成8年度の決算では、市債返済額のうち下水道使用料で返済した(使用料+汚水処理費)額の割合は20パーセントを切るような状況であり、今後その数値は年々低下すると見込んでいます。

この事業は、桂川右岸の3市域(向日市・長岡京市・京都市の各一部の地域)から排出される雨水を、府道中山稲荷線から国道171号の道路下に埋設される管渠に一時的に貯めるもので、完成が待ち望まれています。

今後、京都府の事業と連携して「雨に負けないまちづくり」を目指し、積極的に雨水の公共下水道事業を進めていきます。

さて、これらの公共下水道の建設および維持管理の事業にかかる財源は、下水道使用料、市債の発行、国からの補助金と不足分は一般会計からの繰入金で収支の均衡を図っているのが現状です。

その中の市債につきましては、ご存じのように借金であり、平成8年度末の公共下水道に係る市債残高は約143億3000万円に達しています。

この返済には、今後、毎年10億円以上の多額の財源を必要とし、本市の下水道事業会計の中で大きな比重を占めることとなります。

この返済には、今後、毎年10億円以上の多額の財源を必要とし、本市の下水道事業会計の中で大きな比重を占めることとなります。

この返済には、今後、毎年10億円以上の多額の財源を必要とし、本市の下水道事業会計の中で大きな比重を占めることとなります。

この返済には、今後、毎年10億円以上の多額の財源を必要とし、本市の下水道事業会計の中で大きな比重を占めることとなります。

この返済には、今後、毎年10億円以上の多額の財源を必要とし、本市の下水道事業会計の中で大きな比重を占めることとなります。

この返済には、今後、毎年10億円以上の多額の財源を必要とし、本市の下水道事業会計の中で大きな比重を占めることとなります。

下水道工事のお知らせ 平成10年3月末まで



国道171号で公共下水道工事を行います。工事中は1車線規制となり、ご迷惑をおかけいたしますが、ご協力をお願いします。工期は平成9年9月中旬から平成10年3月末まで。

お問い合わせ
下水道建設課
内線852・853

「下水道いろいろコンクール」作品募集

日本下水道協会、日本水道新聞社(日本下水道新聞)では、下水道促進のムードを全国的に盛り上げることを目的に、「下水道いろいろコンクール」の作品を募集しています。募集要項は次のとおりです。

■ポスターコンクール
▷応募資格 小・中学生
▷応募規定 ①B4版〜A2版以内とし、画材は問わない。「9月10日全国下水道促進デー」の文字を入れること。ただし、小学校1〜3学年は文字を入れなくてもよい。②作品の裏面に学校名、学年、氏名を明記のこと。

■作文コンクール
▷応募資格 小・中学生

▷応募規定 ①小学生は600字〜1600字以内、中学生は1600字〜2000字以内。400字詰原稿用紙(タテ書)を使用のこと。ワープロ原稿は不可。②作品にはタイトルの他に学校名、学年、氏名を明記のこと。

■標語コンクール
▷応募資格 特に制限なし
▷応募規定 ①官製ハガキ1枚に作品1点。応募点数に制限なし。②作品には住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明記のこと。

■書道コンクール
▷応募資格 小学生
▷応募規定 ①半紙(タテ32.7cm・ヨコ24.3cm)を使用し、

低学年は「げすいどう」、高学年は「下水道の促進」をタテ書きのこと。②作品の左はしに墨書きで正式な学校名(〇〇市立〇〇小学校)、学年、氏名を明記のこと。③作品の下中央に、タテ10cm、ヨコ20cmの白紙に学校名、学年、氏名、連絡先(住所・電話番号)を鉛筆書きなどで明記し添付のこと。④一括で応募する場合は、連絡先を明記のこと。

■募集期限 平成9年11月30日(当日消印有効)
■送り先 〒160 東京都新宿区西新宿6-6-2 日本水道新聞社出版企画本部 「下水道いろいろコンクール係」 ☎03-3340-4731